



小川町議会だよりは

見出しにコダワル！

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

おがわ学のテキストには、当町の特徴がこと細かく解説され、子供たちが小川町に住んで良かったと感じることができる内容となっています。



期待

**Q** おがわ学  
地域学の構築を2年間行ってきた総括は。  
**A** 地域の方が授業に参加する実践をとおして、おがわ学の教

材を小・中・高校別にまとめ、県内外の教育関係者に紹介することができました。学習状況調査の結果として、郷土愛の項目が他市町村より10%ほど高い値でした。

期待

**Q** 町の対応と各校の状況は。  
**A** コロナ対策として1人5000円の補助があり、小学校は、令和2年度内に全校が実施できました。中学校は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和3年度に延期となったため、補助の対象にはなりませんでしたが、榎台中学校が4月、西中学校は6月に実施しました。東中学校は感染の収束を待ち計画を延期していましたが、

評価

**Q** GIGAスクール  
Wi-Fi環境は。  
**A** 普通教室は全て整いました。特別教室は未整備ですので、今後、順次整備をしていきます。家庭へのモバイルルーターの貸し出し基準は、要保護・準要保護は見合わせました。

願い



新型コロナウイルスが終息し、生徒が、勉強にも行事にも部活にも、安心して思う存分取り組みの日が1日も早く訪れることを心から願います。

東中学校 下村校長

評価

**Q** デマンドタクシー  
活用状況は。  
**A** 令和2年度末で5626人の登録があり、運行件数は2万2176件でした。緊急事態宣言の影響で、令和元年度より運行件数は減りました。利用の多い年齢は70歳代以上が全体の約8割、利用場所は①駅前シヨッピングセンター ②小川日赤

期待

**Q** ため池耐震点検  
進捗状況と今後の計画は。  
**A** 当町の補助対象ため池は31か所あり、27か所の耐震点検が完了しました。その内24か所のため池は耐震性に不安があるとの診断です。今後、劣化状況評価を行い、県と町で整備計画を策定していきます。

期待

**Q** 国民健康保険  
小川町の強みと弱みは。  
**A** 保険税の収納率は年々向上し、県内市町村の中では常に上位にあります。特定健康診断の受診率も年々向上しています。歯科検診は実施していませんので加点はありません。がん検診は、診断後の取り組み内容に努力が必要です。

評価

**Q** 高齢者配食サービス  
利用者の状況は。  
**A** 調理困難な高齢者へのサービスであり、希望者には栄養指導を行っています。令和2年度はケアマネジャーの研修会で周知したこともあり、利用者が増加し配食数も1000食増えました。

要望が

玄関から運ぶ時に弁当を落としたことがあるので、できれば食堂まで運んでほしいなあ。

水島正二さん  
(東小川2丁目)

期待

**Q** 安定供給を続けるための課題と対策は。  
**A** 一番の課題は、給水原価が供給単価を上回っていることです。今後、さらなる企業努力により、工事費等の削減でその解消に努めます。水道料金改定は平成8年以降行っており、現在浄水場を更新するための基本設計を行っているが、合わせて水道料金改定の検討も行っています。

令和2年度 その他の会計決算

老朽化が進む水道施設・設備  
水道料金の今後は

評価

**Q** マイナンバーカード  
登録者が大幅に増えたが。  
**A** 国ではデジタル時代のパスポートとして、マイナンバーカードの交付率を高めようとして取り組

んでいます。マイナポイント制度やQRコードによる申請ができるようになり、当町でも急激に増えています。月平均で341件、マイナポイント締め切りの3月には1282件の登録がありました。当町の交付率は現在31.7%です。



激甚化する自然災害にも耐えうる各ため池の整備は喫緊の課題です。

下里下沼での耐震点検の様子